

CASBEE_Sapporo2014v1.2
(仮称)イリーゼ屯田

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目					建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄						評価点	重み係数		評価点	重み係数		
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数									
Q1 建築物の環境品質													2.8				
Q1 室内環境													3.0				
1 音環境													3.0				
1.1 騒音													3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.2 遮音													3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能													3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能													3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音													3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境													3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御													3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温													3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能													3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性													3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御													3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式													3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境													3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 昼光利用													3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率													3.0	0.60	3.0	0.60	
2 方位別開口													-	-	-	-	
3 昼光利用設備													3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策													3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御													3.0	1.00	3.0	1.00	
2 眩り・光害対策													-	-	-	-	
3.3 照度													3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御													3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境													3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策													3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質													3.0	1.00	3.0	1.00	
2 化学汚染物質													-	-	-	-	
4.2 換気													3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量													3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能													-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮													3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理													3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視													-	-	-	-	
2 喫煙の制御													3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能													-	0.30	-	-	3.0
1 機能性													3.3	0.40	3.0	1.00	3.1
1.1 機能性・使いやすさ													3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性													-	-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応													-	-	-	-	
3 バリアフリー計画													3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性													4.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観													-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース													-	-	-	-	
3 内装計画													4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理													3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計													3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保													3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務													-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性													2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震													3.0	0.50	-	-	
1 耐震性													3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能													3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数													3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数													3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔													3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性													2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備													3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備													2.0	0.20	-	-	
3 電気設備													3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法													3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備													2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性													3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり													3.0	0.30	3.0	0.50	
1 階高のゆとり													3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ													3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり													3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性													3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性													3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性													3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性													3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性													3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性													3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保													3.0	0.20	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.2
(仮称)イリーゼ屯田

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				A:省エネルギー		B:省資源		C:緑化		D:雪処理		全体
		A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄												
Q3 室外環境(敷地内)													2.5	
1 生物環境の保全と創出				C									2.0	
2 まちなみ・景観への配慮				C									3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮													2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上													3.0	
3.2 敷地内温熱環境の向上			B	C									2.0	
LR 建築物の環境負荷低減性													3.2	
LR1 エネルギー													3.3	
1 建物外皮の熱負荷抑制		A											2.0	
2 自然エネルギー利用		A											3.0	
3 設備システムの高効率化													4.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A				BEI 非住宅 0.64	住宅(専有部) 0.89						4.0	
集合住宅の評価(3c)		A				効率化を図るために多くのランプをLEDとした							4.0	
4 効率的運用													3.0	
集合住宅以外の評価													3.0	
4.1 モニタリング		A											3.0	
4.2 運用管理体制		A											3.0	
集合住宅の評価													-	
4.1 モニタリング		A											-	
4.2 運用管理体制		A											-	
LR2 資源・マテリアル													2.8	
1 水資源保護													3.0	
1.1 節水													3.0	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用													3.0	
1 雨水利用システム導入の有無													3.0	
2 雑排水等利用システム導入の有無													3.0	
2 非再生性資源の使用量削減													2.9	
2.1 材料使用量の削減			B										2.0	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B										3.0	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B										3.0	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B										3.0	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B										3.0	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B										3.0	
3 汚染物質含有材料の使用回避													2.7	
3.1 有害物質を含まない材料の使用													3.0	
3.2 フロン・ハロンの回避													2.6	
1 消火剤			B										2.0	
2 発泡剤(断熱材等)			B										3.0	
3 冷媒			B										3.0	
LR3 敷地外環境													3.4	
1 地球温暖化への配慮			B										5.0	
2 地域環境への配慮													2.4	
2.1 大気汚染防止			B										3.0	
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D								2.0	
2.3 地域インフラへの負荷抑制													2.7	
1 雨水排水負荷低減			B										3.0	
2 汚水処理負荷抑制													3.0	
3 交通負荷抑制													3.0	
4 廃棄物処理負荷抑制			B		D								2.0	
3 周辺環境への配慮													3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止													3.0	
1 騒音													3.0	
2 振動													3.0	
3 悪臭													3.0	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制													3.0	
1 風害の抑制													3.0	
2 砂塵の抑制													-	
3 日照阻害の抑制													3.0	
3.3 光害の抑制													3.0	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策													3.0	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策													3.0	